

禹 ハンウル WOO Hanwool

モビリティシステム研究室 (八王子キャンパス)



次世代自動車や移動ロボット、遠隔操作システムなど、我々の社会や生活に貢献できる知能移動体の開発を目指しています。知能移動体が人間と共存し、人間を支援するために必要な技術についての研究を行っています。

学科/職階	機械システム工学科/准教授
学位	博士(工学)
内線	八王子 3522
八王子オフィスアワー	08-203 月曜日 13:00~17:00
新宿 オフィスアワー	A-1736 水曜日 16:00~17:00
Email	at13710@ns.kogakuin.ac.jp
研究業績	https://er-web.sc.kogakuin.ac.jp/Profiles/25/0002444/profile.html
主な担当科目	自動車工学、高度交通システム、機械加工演習、機械システム基礎、機械システム設計総合演習、モビリティシステム特論

主な研究テーマ (専門分野)

次世代自動車、知能ロボット、遠隔操作システム

教育・研究活動

知能移動体が人間と共存し、人間を支援するために必要な技術について研究をしています。次世代自動車の研究においては、車載センサからの情報に基づき、周りの環境を認識したり、他運転者の意図を推定したり、歩行者の動きを予測したりする手法の構築を行っています。知能ロボットの研究においては、歩行者が存在する混雑した環境下におけるロボットの動かし方や環境を認識する方法について研究を行っています。また、人間の立ち入りが困難な災害地におけるロボットの活用についても検討しています。事故後の原子炉建屋内のように未知の放射線源が存在しているような状況を想定し、移動ロボットが自律的に放射線源の位置を推定するシステムを開発しています。遠隔操作システムの研究においては、廃炉現場といった遠隔操作によりロボットアームを使用するシーンを想定し、オペレータに適切な視点の映像を提示するためのカメラ配置手法を開発しています。

学生への一言

本研究室では、我々の社会や生活に貢献できる知能移動体の開発を目指しています。機械学習・画像処理に興味のある方、ロボットを動かしてみたい方、ドライビングシミュレータを使った実験に興味のある方、プログラミング能力をみにつけたい方はぜひ検討してみてください。研究内容が難しそうだとか、自分で本当に研究ができるのだろうかと不安に思う人もいるかもしれませんが、しかし「やる気」さえあれば大丈夫です。一緒に楽しみながら頑張っていきましょう。

URL は、<https://www.hanwoolwoo.com/research>